

## 市制施行30周年に寄せて

## 人口減少時代での 生き残りのために

牛久市長 根本洋治

> 当時、 貫して増加を続け、現在 あった人口は、その後一 は8万5千人に迫ってい を迎えました。 月1日に市制施 牛久市は、 5万3072人で 平 成 28 市制施行 行30周年

性はもちろんですが、自 での間発展を続けてこら 中にあって、今日に至るま 激動する社会経済状況の あります。この場を借り 先輩方のご尽力の賜物で まちにしようとご尽力い 分たちの故郷をより良い した地理的な条件の優位 れたのは、東京を中心と た時代に高度成長期を迎 感謝の意を表します。 まして、深甚なる敬意と ただいた市民の皆様、 ブル経済とその崩壊など、 牛久市が牛久町であっ オイルショック、バ

年に1億2千800万人 に入りましたが、牛久市 を頂点として減少の時代 日本の人口は、平成20

出産・子育て世代の転入 住みたくなる人を増やし を知り、また来たくなる 流人口増加によって牛久

減少に直面している県内 合が26パーセントを超え では今なお成長が続いて を迎えることが予想され 近い将来人口減少の時代 の他の市町村と同じく、 少子高齢社会であること 占める65歳以上の方の割 に間違いなく、既に人口 しかし、人口に

り、「選ばれるまち」であ 年2月に「牛久市まち・ り続けること、そして交 み育てやすさ」にこだわ ために、「住みやすさ」「産 8万4千人のまちである から44年後の平成72年に 略」を策定しました。今 ひと・しごと創生総合戦 けることを目指して、 き活力あるまちであり続 今後の牛久市が、 ています。 このような状況の中、 今日とほぼ同じ人口

引き続

返れば、 況をみれば、まちの活力 しょう。そして、今日の状 年間に起こる生活の変化 出すことを目指します。 が増加することで地域 を維持することが容易で なることは、間違いないで これまでの30年を振 想像を超えるものに これから先の44 世代循環を生み

どもたちの未来に対する 力に改めて感謝を申し上 の市政へのご支援とご協 尽くしてまいります。 責任を果たすため、 来を担う子どもたちへの るため、皆様と一緒に、未 責任があります。 ないことは明らかです。 |笑顔のまち牛人| をつく しかし、私たちには子 市民の皆様のこれまで 私は、 力を

げますとともに、これか 賜りますようお願い申し らの牛久市のまちづくり 引き続きお力添えを あいさつといたし

開通や、 から東関東自動車 て・教育施策の充実、 度等の充実といった子育 童クラブ、マル福医療制 た圏央道つくば牛久IC ダイヤ増発ならびに品 これは、 JR常磐線の 保育園、 道 ま 児

今なお増加を続けていま 行から約3万2千 を申し上げます。 お喜び申し上げ、 を代表してお祝い 牛久市の 制 人口は 30 -人増え、 市 0) 市 周 言葉 から 制

しやすくなったことなど

常磐線が更に利用

東京駅まで直

次第であります。

議会といたしまして

と考えます。 知されてきたことの現 たいまち牛久」として認 住んでみたい・住み続け 子育て世代を中心に

市

とえに、 まいり 民皆様方のあたたかいご 目覚まし まざる努力、 牛久市は、 ました。 関係各位のたゆ 41 発展を続けて この ならびに市 これはひ 30

途を祝る

終わりに、

支援・ご協力の賜物であ

将来にわたって 活力ある地域社会を めざして

牛久市議会議長

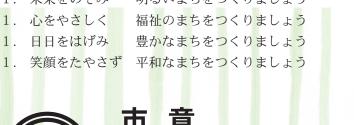
11

祈りいたしまして、 願いしたいと存じます。 動を通じてよりよい 今後とも全議員が議会活 まいりますので、 実現に向かって邁進して 層のご指導ご協力を御 民皆様方のご健勝をお の言葉といたします。 よりよい市民福祉の 福するととも 牛久市の 皆様の

わたくしたちは、牛久市民としての誇りをもち、みんなの力で 文化の香り高い住みよいまちをつくるために、この憲章を定 めます。 昭和61年6月1日制定

1. 水と緑を愛し 美しいまちをつくりましょう

1. 未来をのぞみ 明るいまちをつくりましょう





## 市

昭和35年7月1日制定 牛を大鵬(おおとり)の両方のつばさに 見立て、久はカタカナ(ク)を円形にま いて、協力と円満を示しています。



市の花 冞 昭和53年1月1日制定



市の木 キンモクセイ

昭和53年1月1日制定 撮影日:平成24年10月16日

場所:牛久市役所 撮影者:戸塚昌宏



市の鳥 ウグイス

昭和61年6月1日制定